

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局地域道路課
担当課長名：瀬尾 俊男

事業名 あらいよこやまつやせん 町道 新井横谷松谷線	事業区分 地方道	事業主体 群馬県吾妻郡東吾妻町	
起終点 自：群馬県吾妻郡東吾妻町三島 至： 同上 松谷	延長 1.269km		
事業概要 町道新井横谷松谷線は、利根川水系吾妻川のハツ場ダム建設に伴い新設される(一)林東吾妻線を起点とし、(国)145号に至る路線である。本路線は(国)145号の付替機能補償として整備するものであり、交通の利便性の確保、生活環境の向上及び地域振興を図る目的で整備するものである。			
H 9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H16年度用地着手	H10年度工事着手
全体事業費 30億円		事業進捗率 81%	
計画交通量 3,900台/日		供用済延長 0km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.0	総費用 (事業全体) 28億円 (事業費：28億円 維持管理費：0.17億円)	総便益 (事業全体) 29億円 (走行時間短縮便益：24億円 走行費用減少便益：3.4億円 交通事故減少便益：1.2億円)
感度分析の結果 実施せず			
事業の効果等 ・ダムにより分断される生活道路の確保 ・名勝吾妻峡、川原湯温泉や新たに観光資源となるハツ場ダム等との周遊を促す道路であり、当該地域のさらなる活性化が期待される。			
関係する地方公共団体等の意見 ハツ場ダム事業推進のためにも必要不可欠な道路であり、地元住民からも早期の整備が要望されている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 難航していた補償基準交渉が平成16年度に妥結された。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 H9年に事業着手後、起工承諾により吾妻横断橋が完成。現在岩島地区補償基準妥結により用地買収が可能となり、鋭意用地買収をすすめることととも事業進捗を図り全線の早期供用開始を図る。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 補償基準の妥結の遅れが原因であるが、平成16年の岩島地区における補償基準妥結を受け、用地買収を進めているところであり、ハツ場ダム本体工事により通行が遮断されるためダム事業の進捗に合わせて本路線を完成させていきたい。			
施設の構造や工法の変更等 本事業の一部区間において、旧道を遊歩道を兼ねた歩道とすることにより、橋梁幅員の縮小や土工量の減少を図る。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案するとともに、ダムにより分断される地域を結ぶために必要不可欠であり、事業の必要性、重要性は変わらない。			
事業概要図			
			